

帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業【別府市】

現状と課題

- ・外国人児童生徒の母語が多言語化しており、母語での支援は難しい。
- ・滞在予定期間が短期から定住までの児童生徒がおり、実態に応じた個別の指導・支援が求められる。
- ・日本語で日常会話ができても、学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への取組に支障が生じている児童生徒がいる。
- ・別府市教委は、学校の要請に応じて、すべての日本語指導の必要な児童生徒に教育相談員を派遣する必要がある。
- ・別府市教委は、学校の外国人児童生徒の受入れや支援体制の確立や日本語指導の拡充を進めていく必要がある。
- ・別府市教委は、教職員や教育相談員、母語支援員、日本語指導員の日本語指導力向上を図るため連絡会等を開催する必要がある。

事業内容

日本語指導アドバイザーの活用

- 学校は、日本語指導アドバイザーを招聘し、DLA等で児童生徒の日本語能力を測定し、その分析に基づき個に応じた日本語指導の在り方や校内支援体制について助言を求める。



連動

日本語指導者養成講座・連絡会等を実施して指導力アップ

教育相談員の派遣や母語支援員、日本語指導員の配置・連絡会等の開催・ICTの活用

- 教育相談員の派遣、母語支援員や日本語指導員の配置により、児童生徒の日本語能力に応じた個別の指導や支援を行う。
- 別府市教委は、外国人児童生徒等教育への理解や日本語指導力の向上を図るため連絡会等を開催する。
- 外国人児童生徒の1人1台端末に多言語のデジタル教科書を配付し、それを活用しながら学習を進める。

事業成果

児童生徒の日本語能力アップ
指導者の日本語指導力アップ



- 教育相談員の派遣、母語支援員・日本語指導員の配置により、すべての外国人児童生徒等に対して個別の支援することができ、生活の適応を促したり、日本語能力の向上につなげたりすることができた。
- 日本語指導アドバイザーの活用により、個に応じた効果的な指導・支援や、支援体制の構築につなげることができた。
- 教育相談員、母語支援員、日本語指導員及び教職員に各種研修会や連絡会への参加を促し、外国人児童生徒等教育についての講義や実践交流等を行うことにより、日本語指導力の向上や支援体制の充実を図ることができた。
- 1人1台端末を効果的に活用することにより、外国人児童生徒の日本語能力の伸長や学力保障につなげることができた。

